

品目名 ほうれんそう

品種と作型	月	4	5	6	7	8	9	10	摘 要
	雨 栽 よ け 培		○ 種まき	■ 収穫	○ — ■	○ — ■	○ — ■	○ — ■	○ — ■

主要管理	栽培の要点	留意事項																		
畑の準備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 肥沃で、耕土が深く、排水の良好なところを選ぶ。 ・ 1作目は、種まき1ヶ月前までに堆肥・改良資材を施用して深耕し、種まき2週間前までに化成肥料を施用し畝立てをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ほ場周辺に明渠を必ず設置し、排水をする。 ・ 施肥例 (kg/a) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">資材名</th> <th style="width: 20%;">基肥</th> <th style="width: 20%;">追肥</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>堆肥</td> <td style="text-align: center;">500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>苦土石灰</td> <td style="text-align: center;">20</td> <td></td> </tr> <tr> <td>BMようりん</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ポパイパワー</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	資材名	基肥	追肥	堆肥	500		苦土石灰	20		BMようりん	3		ポパイパワー	15				
資材名	基肥	追肥																		
堆肥	500																			
苦土石灰	20																			
BMようりん	3																			
ポパイパワー	15																			
種まき	<ul style="list-style-type: none"> ・ 種まき機またはシーダーテープを用いて1ヶ所1~2粒播きとする。 																			
かん水	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発芽揃いまでは適湿を保ち、その後本葉3~4枚まではかん水を控える。 ・ 生育中期からは再び適湿を保ち、収穫10日前からは水切りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土壌診断の結果に基づいて基肥を施用する。 																		
遮光	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高温時、発芽不良などが発生する場合は50%程度の遮光資材を用い遮光をする。 ・ 本葉2~3枚頃には遮光資材をとり軟弱徒長を防ぐ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病害虫防除 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">萎凋病、立枯性病害</td> <td>ソイリーン</td> </tr> <tr> <td></td> <td>クロールピクリン</td> </tr> <tr> <td>べと病</td> <td>ガスタード微粒剤</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アリエッティ水和剤</td> </tr> <tr> <td>ヨトウムシ</td> <td>ランマンフロアブル</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アフーム乳剤</td> </tr> <tr> <td></td> <td>アグロスリン乳剤</td> </tr> <tr> <td>ケナガコナダニ</td> <td>カスケード乳剤</td> </tr> <tr> <td>タネバエ</td> <td>ダイアジノン粒剤5</td> </tr> </table>	萎凋病、立枯性病害	ソイリーン		クロールピクリン	べと病	ガスタード微粒剤		アリエッティ水和剤	ヨトウムシ	ランマンフロアブル		アフーム乳剤		アグロスリン乳剤	ケナガコナダニ	カスケード乳剤	タネバエ	ダイアジノン粒剤5
萎凋病、立枯性病害	ソイリーン																			
	クロールピクリン																			
べと病	ガスタード微粒剤																			
	アリエッティ水和剤																			
ヨトウムシ	ランマンフロアブル																			
	アフーム乳剤																			
	アグロスリン乳剤																			
ケナガコナダニ	カスケード乳剤																			
タネバエ	ダイアジノン粒剤5																			
病害虫防除	<ul style="list-style-type: none"> ・ 萎凋病など、立枯性病害が発生した場合は土壌消毒を行う。 ・ べと病は過湿で発生しやすいので換気をしっかりと行う。 																			
収穫	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適切な大きさになったら、涼しいうちに収穫を行う。 ・ 出荷規格に合わせて出荷する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5月中旬から6月下旬播きまでは抽台に注意する。晩抽性の品種を使用し、抽台が見られる場合はある程度収穫に見合う大きさであれば早期に収穫する。 																		